

長野県感染症情報(週報)

《情報編》

2026年(令和8年)
第17週
(2026年4月20日～
2026年4月26日)

主な発生動向

○感染性胃腸炎

感染性胃腸炎の報告数は前週から増加しました(前週:6.43人/定点→今週:6.89人/定点)。

主な感染経路は接触感染と経口感染のため、調理前後や食事の前、トイレやおむつ交換の後には、石けんと流水による手洗いを心掛け、感染予防に努めましょう。

○インフルエンザ

インフルエンザの報告数は前週から減少しました(前週:1.80人/定点→今週:1.32人/定点)。

感染経路は飛沫感染と接触感染です。感染予防のため日頃から体調に気を付け、手洗いや手指消毒、室内の換気・適切な湿度の保持、場面に応じたマスクの着脱、咳エチケットなどの基本的な感染対策を心掛けましょう。

○新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症の報告数は前週から減少しました(前週:2.18人/定点→今週:1.14人/定点)。

◇インフルエンザの保健所別報告数◇

	定点数	定点当たり報告数(人)				
		13週	14週	15週	16週	17週
佐久	5	3.20	2.80	0.60	0.20	0.20
上田	5	12.80	7.60	4.00	1.40	0.20
諏訪	5	19.20	7.80	3.40	0.80	0.80
伊那	4	14.00	15.00	4.25	2.50	5.00
飯田	3	38.00	13.00	7.33	10.67	4.00
木曾	2	9.00	11.00	3.50	2.00	0.00
松本	4	21.75	11.25	3.25	2.75	0.75
大町	2	2.00	0.00	1.50	0.50	0.00
長野	4	4.50	1.50	1.50	0.25	0.75
北信	2	5.50	2.00	0.00	0.00	0.50
長野市	9	9.11	5.33	1.89	0.67	0.67
松本市	5	22.00	13.80	5.40	2.60	3.00
全県	50	13.52	7.68	3.04	1.80	1.32

参考: 注意報の基準値:10人以上30人未満

警報の基準値 :30人以上

(警報の終息基準値:10人未満)

【ゴールデンウィーク中に海外へ出かける方へ】《特に麻しん(はしか)に注意》

海外では国内で発生していない感染症がたくさんあります。渡航先の感染症の流行状況を事前に確認し、流行状況等に応じた適切な感染予防対策を心掛けてください。

特に、麻しんは海外での流行が続いており、近年、海外からの輸入症例が引き続き報告されており、また、国内でも現在麻しん感染者が急増しています。

麻しん流行地域に渡航される方で、過去に麻しんにかかったことがなく、麻しん含有ワクチンの2回の接種歴がない場合、**渡航前の予防接種**を検討しましょう。

また、帰国後2週間程度は健康状態に留意し、発熱や発疹等の症状がみられた場合には、事前に医療機関へ連絡の上、渡航先、滞在期間等を伝えてから受診してください。

○厚生労働省「海外へ渡航される皆様へ」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou18/index_00003.html

○「麻しん(はしか)」<https://www.pref.nagano.lg.jp/shippei-kansen/kenko/kenko/kansensho/joho/mashin.html>

全数把握感染症

類型	報告疾患・報告数
一類感染症	なし
二類感染症	結核1例、潜在性結核感染症1例
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症1例
四類感染症	つつが虫1例
五類感染症	急性弛緩性麻痺1例、急性脳症1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、梅毒2例、百日咳2例

定点把握感染症

◆定点当たりの報告数(今週の主な感染症)

感染症名	今週	前週比	1週前	2週前
感染性胃腸炎	6.89	107.2%	6.43	5.57
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.86	84.4%	3.39	1.89
インフルエンザ	1.32	73.3%	1.80	3.04
新型コロナウイルス感染症	1.14	52.3%	2.18	0.90
流行性角結膜炎	0.50	166.7%	0.30	0.50
急性呼吸器感染症(ARI)	69.44	107.5%	64.60	50.48

○速報値のため今後の集計で変更が生じることがあります。

○「学校等のインフルエンザ様疾患による休業状況」

<https://www.pref.nagano.lg.jp/shippei-kansen/kenko/kenko/kansensho/joho/influ2.htm>

○厚生労働省「感染性胃腸炎(特にノロウイルス)」

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/norovirus.html>

○「インフルエンザ情報(季節性インフルエンザ)」

<https://www.pref.nagano.lg.jp/shippei-kansen/kenko/kenko/kansensho/joho/influ.htm>

○第18週は、5月8日(金)発行予定です。

(問合せ先)

担当 長野県健康福祉部疾病・感染症対策課
中沢、山口

電話 026-235-7148(直通)

026-232-0111(代表) 内線 4135

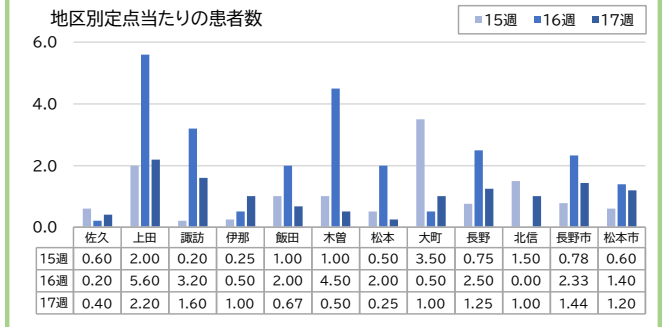
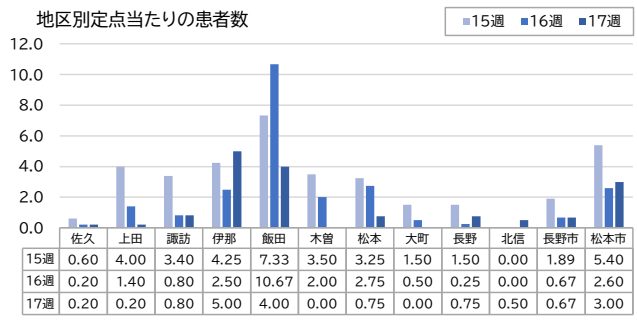
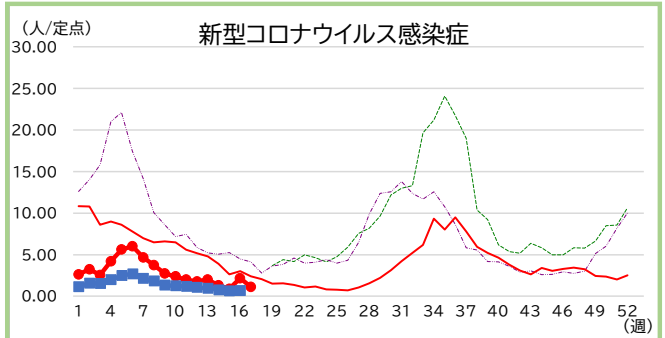
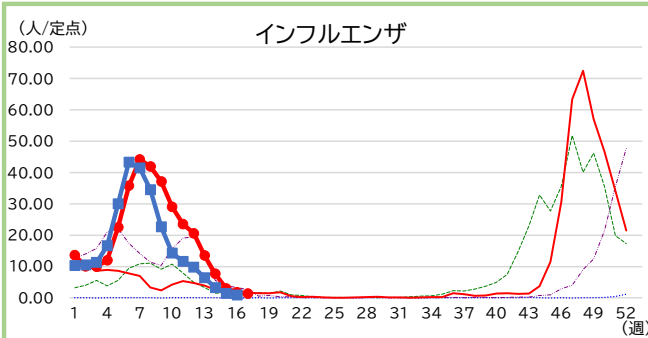
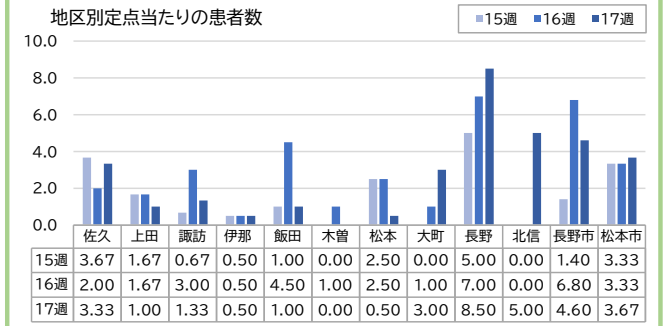
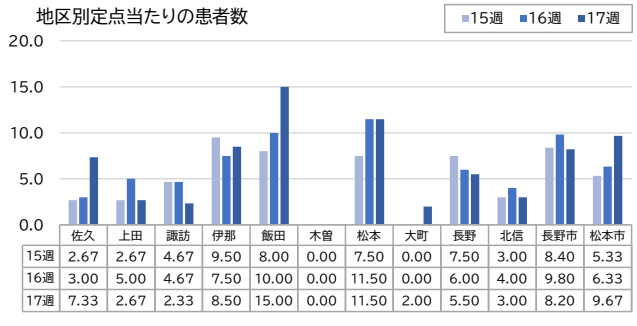
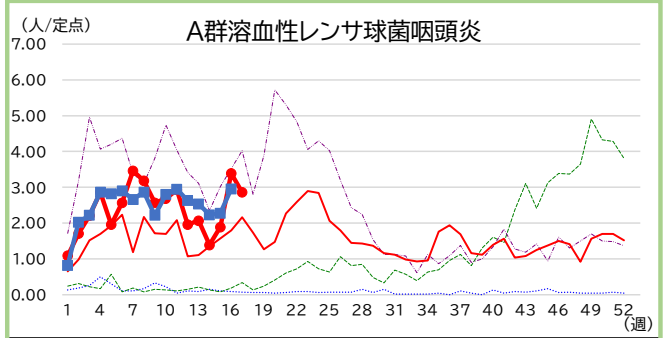
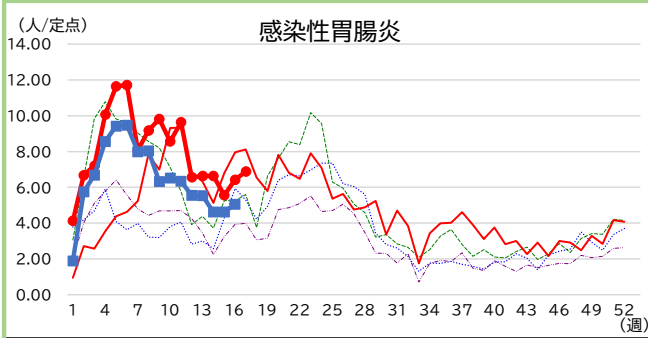
ファクシミリ 026-235-7334

Email kansen@pref.nagano.lg.jp

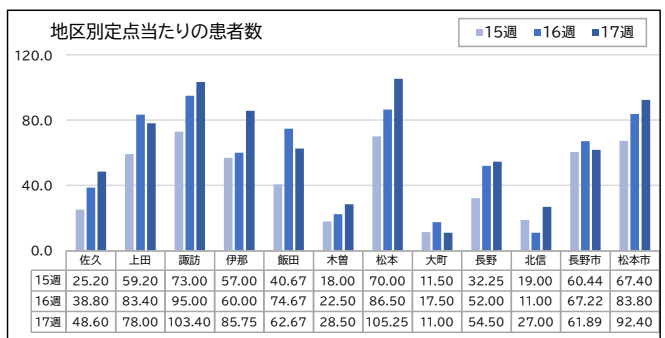
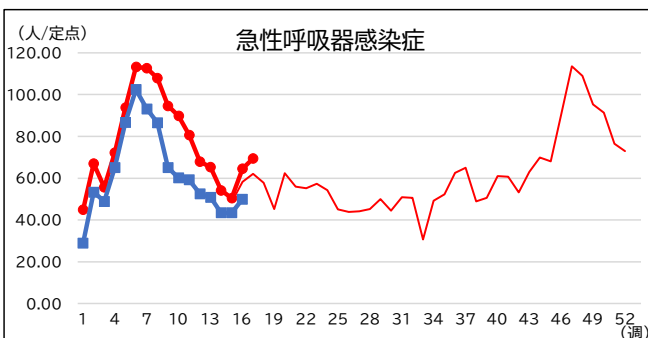
注意が必要な感染症の推移

定点把握疾患4疾患

● 県2022 ● 県2023 ● 県2024
● 県2025 ● 県2026 ■ 国2026



急性呼吸器感染症(ARI)の推移



麻しんの感染拡大防止に向けた国民の皆様へのメッセージ

- 重症になりやすく、感染力が極めて高い麻しん（はしか）が、2020年以降最多となるペースで感染拡大しています。麻しん（はしか）は、マスクや手洗いでは感染予防として十分ではなく、ワクチンが重要です。**麻しん（はしか）は、「かかってもたいしたことはない」感染症ではなく、肺炎・脳炎・腸炎などで重症化することも多く、先進国でも重症化することもあり、1,000人に1人死亡するとされている感染症**です。更なる感染拡大防止のため、以下の事項について、ご協力をお願いいたします。

<麻しん（はしか）を疑う症状がある場合の対応>

- **麻しんを疑う症状がある場合は、外出を控えるとともに、受診する場合には、事前に医療機関に連絡の上、医療機関の指示に従ってご対応いただく**ようお願いいたします。
- 感染拡大防止のため、受診の際には、**公共交通機関の利用を可能な限り避ける**ことについて、ご協力をお願いいたします。

<自治体の疫学調査へのご協力>

- 麻しん（はしか）の感染拡大防止には、**患者や接触者に対する行政による調査が重要**です。ご協力をお願いいたします。

<ワクチン接種のご検討>

- ご自身の発症予防、重症化予防、集団としての感染拡大防止の観点から、ワクチンは2回接種することが重要です。
- お子様は麻しん・風しんワクチンの**定期接種の対象である1歳又は就学前1年間**にある場合、**積極的に早期の接種をご検討**ください。
- 海外では大きな流行が複数の国で報告されています。接種が不十分な場合、**渡航の2週間前までに接種することをご検討**ください。
- **2000年4月1日以前に生まれた方は、当時の感染状況もあり、2回の定期接種が行われていない可能性があります。**母子健康手帳等で、過去の麻しんの罹患歴又は2回の接種記録を確認できない方は、今一度、**麻しん・風しんワクチンの接種をご検討**ください。なお、今回の流行は**10代～40代の方を中心に流行している**ことも踏まえ、特にこの年齢層の方はご検討をお願いいたします。

<特にご注意いただきたい方々>

- 特に、以下の方々は、接種が不十分な場合、ワクチンの接種をご検討ください。
 - ・ 保育園や学校職員、医療機関職員など、小さいお子さんや患者さんと接触する機会の多い方
 - ・ 空港職員、観光業スタッフなど渡航者と接触する機会の多い方
- また、以下の方々は、感染すると重症化すると言われておりますのでご注意ください。
 - ・ 妊娠中は麻しん風しんワクチンの接種はできません。早産や流産のリスクがあるため、妊娠前の接種をご検討ください。
 - ・ 免疫不全のある方は、主治医の方と相談のうえ、麻しん風しんワクチン接種をご検討ください。
 - ・ 乳幼児は、肺炎や脳炎を起こすリスクがありますので、ご家族の接種歴をご確認ください。